

製品名: IRAK-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12727**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	IRAK2
別名	IRAK2; Interleukin-1 receptor-associated kinase-like 2; IRAK-2
遺伝子 ID	3656.0
SwissProt ID	O43187
免疫原	ヒト IRAK-2 の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

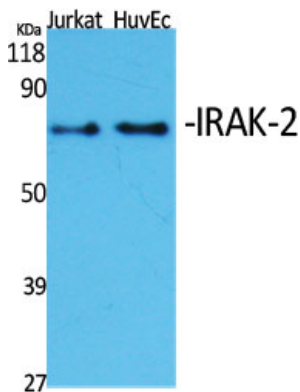
IRAK2 は、刺激を受けるとインターロイキン-1 受容体 (IL1R) と会合する 2 つの推定セリン/スレオニンキナーゼのうちの 1 つである、インターロイキン-1 受容体関連キナーゼ 2 をコードします。IRAK2 は、IL-1 誘導性 NF- κ B の上方制御に関与することが報告され

ています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、注意：活性部位残基であると予想される保存された Asp の代わりに Asn-335 が存在します。この酵素は触媒的に不活性であることが示されています。、ドメイン：タンパク質キナーゼドメインは触媒的に不活性であると予測されます。、機能：IL-1 の関与後に IL-1 I 型受容体に結合し、転写の上方制御と mRNA の安定化につながる細胞内シグナル伝達カスケードを誘発します。、類似性：タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。Pelle サブファミリー。、類似性：1 つのデスドメインを含む。、類似性：1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット：MYD88 と相互作用する。IL-1 刺激によりシグナル伝達複合体が形成され、PEL1 の結合後に IL-1 受容体から解離する。、組織特異性：脾臓、胸腺、前立腺、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓、末梢白血球に発現する。、

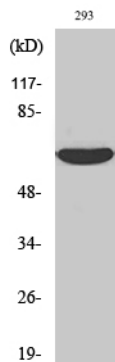
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;神経栄養因子;

画像データ



1: 2000 に希釈した IRK-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 2000 に希釈した IRK-2 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析